

第 11 回 認知症フォーラム実施結果

日時：平成 30 年 10 月 27 日（日）13 時 30 分～16 時 00 分

場所：練馬区役所多目的会議室

テーマ：認知症新時代 ～認知症の人と家族の思いがかなうには～

講師：認知症介護研究・研修 東京センター 研究部長 永田久美子 氏

認知症本人・家族 2 組

参加者：117 名（一般 80 名 スタッフ・関係者 37 名）

概要：講演 認知症とともにによりよく生きる～地域を舞台にのびのびと～

- ・ 認知症のイメージを変えよう
 - …できることや可能性を重視し、希望の持てる生活を
- ・ 本人の声を聴き、暮らしと地域を創ろう
 - …支えられる一方でなく、地域の支え手として活躍
 - 本人なりの小さな希望や好きなことを、一緒に実現する
- ・ 自然なつながりを大切に保つ、創る
 - …なじみの地域、人たちとつながりつづける
 - 自然に見守れる地域づくり

本人・家族の話

- ・ 89 歳男性…もの忘れや道に迷うこともあるけれど、夫婦で確認しあい、支え合いながら一緒に行動している。
- ・ 102 歳男性…最近まで会社 OB 会に参加。まだまだやりたいこともある。孫まで含めて家族の支えがありがたい。

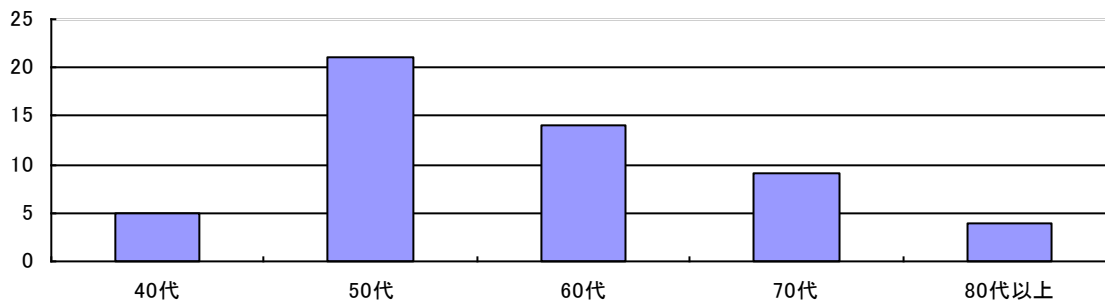
情報ひろば

- ・ 介護家族会の案内展示
- ・ 相談ブース（地域包括支援センター、健康推進課歯科保健担当、認知症疾患医療センター、事連協居宅介護支援部会、権利擁護センター、薬剤師会、成年後見推進ネットこれから、傾聴ボランティア・こだまの会、認知症サポートセンターねりま）

アンケート結果： 回収数 57/80 (71.3%)

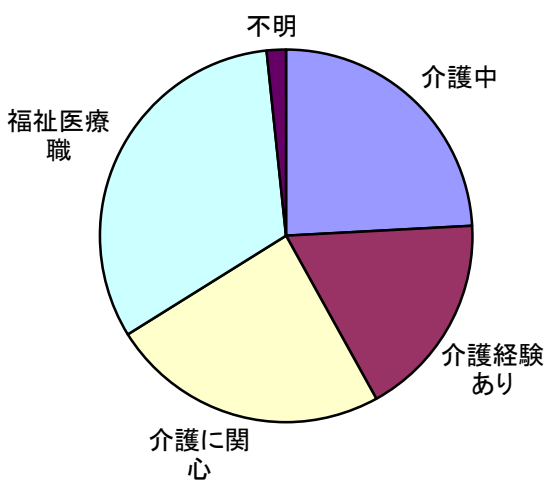
1. 参加者の年齢

- ①30代以下 2 (4%) ②40代 5 (9%) ③50代 21 (37%) ④60代 14 (25%)
- ⑤70代 9 (16%) ⑥80代 3 (5%) ⑦90代 1 (2%) 不明 2 (4%)



2. 参加者の属性

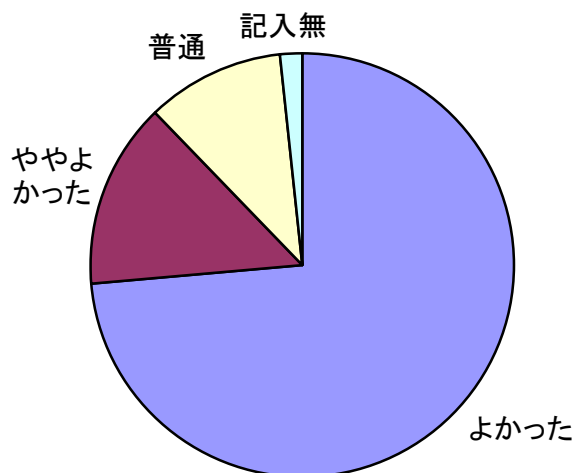
- ①家族を介護中 15 (26%)
- ②過去に家族を介護 11 (19%)
- ③介護に関心がある 15 (26%)
- ④福祉・医療職 20 (35%)
- 不明 1 (2%)



3. 満足度

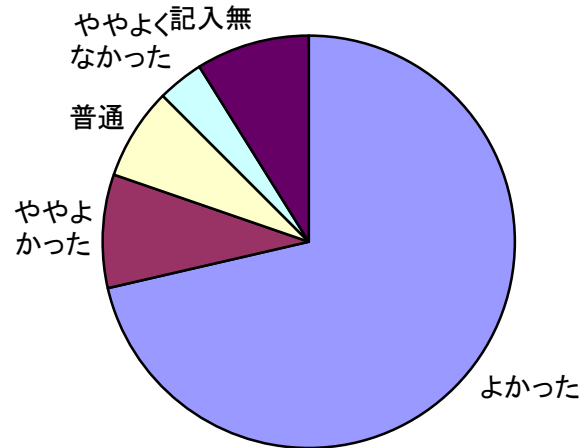
【講演】「認知症とともによりよく生きる～地域を舞台にのびのびと～」

- ① よかった 42 (74%)
- ② ややよかった 8 (14%)
- ③ 普通 6 (11%)
- ④ ややよくなかった 0
- ⑤ よくなかった 0
- 記入なし 1 (2%)



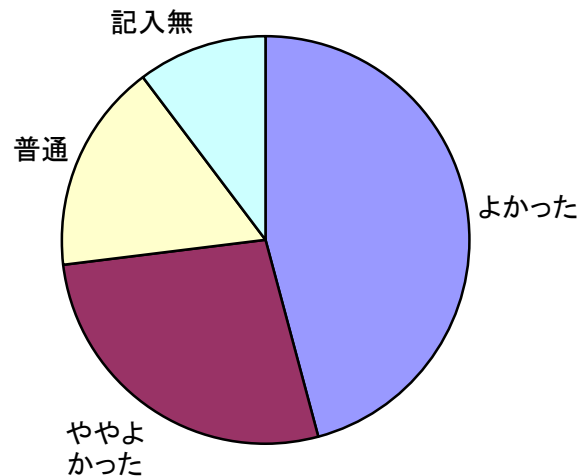
【本人の思い・家族の思い】

- ① よかった 40 (70%)
- ② ややよかった 5 (9%)
- ③ 普通 4 (7%)
- ④ ややよくなかった 2 (4%)
- ⑤ よくなかった 0
- 記入なし 5 (9%)



【情報広場】

- ① よかった 22 (39%)
- ② ややよかった 13 (23%)
- ③ 普通 8 (14%)
- ④ ややよくなかった 0
- ⑤ よくなかった 0
- 記入なし 14 (25%)



* 感想自由記入欄...抜粋

- ・ご本人の声を聞くことがいかに大事かということを実感しました。
- ・本人が前向きに自信を持って生きることが何より大切なんだと分かってタメになりました。本人が一番不安に思っている事、それを理解した上で接することが大事なんですね。
- ・お二人とも、前向きに自信、意欲を持って過ごされてるお話を伺えて感動しました。
- ・本人、家族の声、具体的な日常が聞けてよかった。〇さんの奥様の考え方がとても前向きで良いと思った。お二人で明るくて、あんな風に年をとれたら、と思いました。
- ・ご家族の方々が御本人をゆったりしっかり支えていることが、よく伝わってきた。
- ・102歳の人の話しは面白かった。〇〇さんの挨拶もよかった、奥様のきっかけが参考になった。
- ・認知症本人様の表情がとても穏やかで安心しました。夫婦の絆も美しいと思いました。
- ・もっといろいろな話や体験、介護でお困りのことを聞きたかったです。
- ・特別なことでなくチョットしたこと大切さ、昭和の路地裏の光景、そこに何かつながるものが

あるような感じもしました。

- ・ 認知症の方もそうでない方も共に生きていける社会でありたいと思います。
- ・ 認知症の方々の意欲を引き出し、地域社会で役割を果たせるような関係を地域の中で作ってあげれば・・・。
- ・ 介護される方でご家族のお話が聞けるといのは良い企画でしたが、102歳の男性が「会場に来ている人たちはどうしてここに来ている」ととても気になさっていたのに、説明してさしあげなかった事、とても残念！！参加なさった人たち中で一番しっかりなさって人間的だったのが（例の）お二人の男性でしたね。
- ・ 本日はたくさんの団体が来て下さって相談に応じて下さるご様子、有難うございます。分からないことは、どの団体に具体的なことを相談すればいいかがあまり分かりづらいです。
- ・ 地域資源を活かしつつインフォーマルな支援に光を当てている点はとても有意義だと感じたが、皆が協力的な人ばかりではないと思うので、上手くいかなかった事例の紹介をして欲しかった。
- ・ 言いたいこと発想の転換の必要性は分かったが、具体的な実践例がないのが残念。
- ・ 話を聞かせていただくのは有難いですが、来ていただくのが大変だと思います。

4. 練馬区に対して、認知症に関するどのようなことを望みますか？

- ・ 家族への支援の充実、本人の活動の場づくり。成年後見人体制の充実。デイの経営者の話しがききたい。「認知症カフェ」が西武練馬駅周辺にあるとうれしい。
- ・ 行政がもっともっと、地域へ介入してほしい思いが強いです。
- ・ 地域の方々が認知症への理解が進む取り組み、もっと認知症の情報を区民に教えてほしい。
- ・ 高齢者だけでなく、若年性認知症も知られていない。
- ・ 医師会との連携。介護者からの情報（Dr⇔ケアマネ）のやりとりの書式作りなど。
- ・ 家族への対応をどの程度考えているのかのアンケート実施をしていますか。
- ・ 認知症の方々のサポート体制、様々な地域資源を集めて確立して行けるような施策を打ち出してほしい。区と協働でサポートできた事例など共有したい。
- ・ 認知症新時代とあるように、変化する様々な情報をいろいろな形で発信して頂きたい。
- ・ 区報で認知症サポーター養成の講座を目にし、気にはなりますが中々ハードルが高くて1歩が踏み出せません。もう少し気軽に参加出来るような文面だったら参加しやすいかなと思います。
- ・ さらに認知症に対するやさしいまなざしをみんなが持てるように啓発活動をお願い致します。近所には家族が認知症でもかくしているご家族がおられます。

5. 認知症サポートセンター・ねりまに対して、今後どのような活動を望みますか？

- ・このような会を継続し、家族へのサポートを続けていただきたい。区内にもっと知られるとよいと思う。研修を多くやってほしい。この取り組みのあとの“成果”。
- ・今回のようなフォーラムの開催を通じて、認知症に対する古い社会通念を変えていけるような活動を実現してほしい。今後もこのような機会や事例を聞けるような場を提供していただきたい。
- ・＜介護＞＜介護家族＞を360度まわりから見て必要、必要かもと思われることを提示して頂きいつもありがとうございます。＜介護する人＞という視点からいつも見て頂けると。これからもそんな活動をして頂けることを益々望んでいます。今日はありがとうございました。
- ・区報、テレビでも大きく取上げて頂きたい、介護している家族の気持？を伺いたい。心を開いた事など。
- ・予防の食事はどのようなものがあるのか？もっとたくさん認知症の方の話しがききたい。
- ・できれば自分も参加してみたい。そんなことは可能か、どうなのかを知りたい。(全くのしろうとですが)

(集計：NPO 法人認知症サポートセンター・ねりま)